

S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数 メソドロジー

2024 年 8 月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は www.spglobal.com/spdji よりご覧いただけます。

目次

はじめに	3
指数の目的及びハイライト	3
補足資料	4
適格性基準	5
指数ユニバース	5
サステイナリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニングに基づく除外	5
複数シェア・クラス	5
論争的となる問題に基づく除外：メディア及び利害関係者分析	6
指数構築	7
構成銘柄の選択	7
構成銘柄のウェイト付け	7
ティルト・スケーリング・ファクター	8
指数の算出	8
指数の維持	10
リバランス	10
国連グローバル・コンパクト（UNGC）に基づく適格性に関する四半期レビュー	10
継続的な維持	10
四半期アップデート	10
追加及び除外	10
コーポレート・アクション	11
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	11
基準日と過去データ	11
指数データ	12
計算されるリターンのタイプ	12

指数ガバナンス	13
指数委員会	13
指数方針	14
公表	14
プロフォーマ・ファイル	14
休日のスケジュール	14
リバランス	14
予定外の市場の閉鎖	14
再計算の方針	15
お問い合わせ先	15
指数の配信	16
ティッカー	16
指数データ	17
ウェブサイト	17
付属資料 A	18
バックワード・データ・アサンプションの対象となる指定データセット	18
欠落しているカバレッジに基づく除外	18
指定データセット毎の過去のカバレッジ評価	19
付属資料 B	21
メソドロジーの変更	21
S&P Dow Jones Indices 免責事項	22
パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	22
知的財産権/免責条項	23
ESG 指数の免責事項	26

はじめに

指数の目的及びハイライト

S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数は、TOPIX 500（以下、「原指数」という）の中で適格性基準において定義されている持続可能性基準を満たしている証券のパフォーマンスを測定します。この指数は、相対的に S&P グローバル ESG スコアの高い（または低い）企業をオーバーウェイト（またはアンダーウェイト）することにより、原指数と比べて S&P グローバル ESG スコア・エクスポージャーを改善するように努めます。指数構成銘柄は、原指数の構成銘柄のウェイトに基づいて加重され、S&P グローバル ESG スコアの高い（または低い）企業をオーバーウェイト（またはアンダーウェイト）する（以下、「ティルトする」という）一方で、ティルト・グループの中立性を維持します。これについては、*指数構築のセクション*に詳述されています。ティルト・グループは、原指数の世界産業分類基準（GICS）及び（または）セクターであり、これは構成銘柄数及び構成によって決まります。

各 GICS 産業グループ（またはセクター）内で、あるいは指数レベルで、所与の指数のウェイトをティルトします。各 GICS 産業グループ内でティルトすることにより、産業グループ（またはセクター）全体のウェイトを原指数と同等の水準に維持することが可能となります。

この指数では、ウェイト付けスキームにおいて様々なスケーリング・ファクターを適用することにより、各構成銘柄のウェイトを調整しています。このスケーリング・ファクターにより、原指数に対して各企業をどの程度オーバーウェイトまたはアンダーウェイトするかを効果的にコントロールすることができます。スケーリング・ファクターが大きいほど、ティルト指数における S&P グローバル ESG スコア・エクスポージャーの改善が相対的に大きくなり、原指数に対する構成銘柄のウェイトの違いも大きくなります。

この指数では透明性の高いルールに基づいたウェイト付けスキームを採用しており、最初に企業の S&P グローバル ESG スコアを取得し、次にこのスコアを再標準化します。S&P グローバル・サステナブル 1 は、コーポレート・サステナビリティ評価（CSA）を通じて収集したデータに基づき、これらのスコアを算出します。企業の CSA スコアは、企業が提供するデータ、公に入手可能な情報、またはこれら両方を用いて算出されます。

TOPIX 500 のメソドロジーに関する情報については、日本取引所グループのウェブサイト (<http://www.jpx.co.jp/english/>) を参照ください。

CSA プロセスに関する詳細については、<https://www.spglobal.com/esg/csa/> を参照ください。

S&P グローバル ESG スコアに関する詳細については、[ここ](#)を参照ください。

補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれるように意図されています。補足資料では、このメソドロジーに記載されている方針、手順、及び計算について、さらに詳細に説明してあります。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーで紹介している主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクについては、以下をご覧ください。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)	Equity Indices Policies & Practices
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)	Index Mathematics Methodology
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Float Adjustment Methodology)	Float Adjustment Methodology
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの世界産業分類基準 (GICS) メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Global Industry Classification Standard (GICS) Methodology)	GICS Methodology

このメソドロジーは、このメソドロジー資料により管理される各指数に対する投資家の関心を測定するとの上記の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われます。

JPXは株式会社日本取引所グループの商標であり、これを利用するライセンスがS&P Dow Jones Indicesに付与されています。

TOPIXは株式会社JPX総研の商標であり、これを利用するライセンスがS&P Dow Jones Indicesに付与されています。

適格性基準

指数ユニバース

各リバランス時点で、この指数のユニバースは原指数の全ての構成銘柄となります。

サステナビリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニングに基づく除外

サステナビリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニング（GSS）は、企業が利害関係者に及ぼす影響を評価するとともに、企業が国際的な規範や基準の違反をどの程度引き起こし、これらの違反にどの程度関与または関連しているかも評価します。GSS 評価では、国連グローバル・コンパクト（UNGC）の原則を基準としています。このスクリーニングでは、関連基準に関する情報も提供され、これには「経済協力開発機構（OECD）多国籍企業ガイドライン」や「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に加え、これらの基礎となる協定などが含まれます。サステナビリティクスは各企業を次の 3 つのステータスに分類します。

- **遵守していない**：UNGC の原則や、これに関連する基準、協定、及び条約に従って行動していない企業
- **ウォッチリスト**：「遵守していない」のステータスに関する全ての側面を立証できない、または確認できないため、1 つ以上の原則に違反するリスクがある企業
- **遵守している**：UNGC の原則や、これに関連する基準、協定、及び条約に従って行動している企業

各リバランス参照日時点で、以下の企業は除外されます：

- サステナビリティクスがカバーしていない企業
- サステナビリティクスの基準に従って「遵守していない」に分類された企業

詳細については、<http://www.sustainalytics.com>を参照ください。

複数シェア・クラス

上場している全ての複数シェア・クラス・ラインは、適格性基準を満たしている限り、指数への採用に適格です。複数シェア・クラスの取り扱いに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）の複数シェアクラス・セクション内のアプローチ A を参照ください。企業における上場している全ての複数シェア・クラス・ラインには同じ S&P グローバル ESG スコアが割り当てられ、そのスコアを用いて評価されます。

論争的となる問題に基づく除外：メディア及び利害関係者分析

以上に加え、S&P グローバルは、指数構成企業に関する ESG リスク事象や論争的となる活動のフィルタリング、スクリーニング、及び分析を日々行うために、RepRisk を活用しています¹。

リスクが存在する場合、S&P グローバルはメディア・利害関係者分析 (MSA) を公表します。これには、経済的な犯罪、汚職、詐欺、違法な商慣行、人権問題、労働争議、職場の安全性、大惨事の事故、及び環境災害といった幅広い問題が含まれます。

指数委員会は、S&P グローバルの MSA が警告を発した企業をレビューし、論争的となっている企業の活動が指数の構成に及ぼす潜在的影響を評価します。指数委員会が、問題のある企業を指数から除外すると判断した場合、その企業は、次のリバランス時点から少なくとも 1 年間にわたり指数に再採用される資格がなくなります。

RepRisk に関する詳細については、www.reprisk.com を参照ください。このサービスは、指数の構築プロセスに直接貢献しているとは見なされていません。

¹ RepRisk は ESG データサイエンス会社であり、人工知能 (AI) や機械学習を人的情報と組み合わせることで、23 の言語にわたる公の情報を体系的に分析し、重大な ESG リスクを特定します。RepRisk は 100 以上の ESG リスク要因について毎日データを更新し、企業の業務運営、ビジネス関係、及び投資におけるリスク管理や ESG 統合に関する一貫した実用的なデータをタイムリーに提供しています。

指数構築

構成銘柄の選択

各リバランス時点で、原指数の中から適格な構成銘柄が選択され、各指数が構築されます。

構成銘柄のウェイト付け

各リバランス時点で、全てのティルト・グループのウェイトは適格ユニバースのティルト・グループのウェイトに対してニュートラルとなっています。各ティルト・グループにおける構成銘柄のウェイトは、ESG ティルト・スコア (S_i) を使用して決定されます。

各 ESG ティルト・スコア (S_i) は、以下のように算出されます。

- a. 各企業の S&P グローバル ESG スコアは、以下の手順に従い、原指数レベルで ESG z-スコア (Z_i) に変換される。
 - i. 100 で除し、平均をゼロ、標準偏差を 1 とする正規分布の累積分布関数の逆数を取る。
 - ii. サステイナリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニング及び論争的となる問題に基づく除外を適用する前に、指数ユニバース内における特定の企業に関する入手可能な S&P グローバル ESG z-スコアの平均値と標準偏差を使用して、各証券の ESG z-スコア (Z_i) を再標準化する。
- b. 企業が S&P グローバル ESG スコアを有していない場合、そのティルト・グループ内の企業の中で入手可能な最も低い ESG z-スコアと同等の ESG z-スコア (Z_i) をその企業に割り当てる。ティルト・グループ内でスコアを有する企業が存在しない場合、ゼロの ESG z-スコアを割り当てる。
- c. 各企業の ESG z-スコア (Z_i) は、以下の通り ESG ティルト・スコア (S_i) に変換される。

$$Z_i > 0 \text{ の場合、 } S_i = 1 + \lambda Z_i$$

$$Z_i < 0 \text{ の場合、 } S_i = 1/(1 - \lambda Z_i)$$

$$Z_i = 0 \text{ の場合、 } S_i = 1$$

ここで、 λ = ティルト・スケーリング・ファクター（下記の表で定義される）

ティルト・スケーリング・ファクター

S&P ESG ティルト指数	ティルト・スケーリング・ファクター	ティルト・グループ
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.25) 指数	0.25	産業グループまたはセクター
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.5) 指数	0.5	産業グループまたはセクター
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (1.0) 指数	1.0	産業グループまたはセクター
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (2.0) 指数	2.0	産業グループまたはセクター

各指数は、産業グループ/セクター内でティルトされ、ティルト・グループは以下の通り各りバランス参照日に決定されます。

- 1つの GICS セクターの中に、利用可能な S&P グローバル ESG スコアが 2 つ未満の GICS 産業グループが含まれる場合、その GICS セクターがティルト・グループとなる。
- 残りのセクターに関して（もしあれば）、全ての産業グループが少なくとも 2 つの S&P グローバル ESG スコアを有している場合、その産業グループがそれぞれ個別のティルト・グループを形成する。

ティルト・グループが上記のように決定された後、構成銘柄のウェイトは以下の通り計算されます。

1. この指数におけるティルト・グループのウェイトは、ティルト・グループにおける構成銘柄のウェイトの合計を、適格ユニバースにおける全ての指数構成銘柄のウェイトの合計で除することにより計算される。

$$\text{ウェイト}_{\text{ティルト・グループ}} = \frac{\sum \text{ティルト・グループの全ての構成銘柄の指数ウェイト}}{\sum \text{全ての指数構成銘柄の指数ウェイト}}$$

2. 各ティルト・グループ内において、構成銘柄のウェイトにそれらの企業の ESG ティルト・スコア(S_i)を乗じる。ティルト・グループ内の構成銘柄のウェイトは、構成銘柄のティルトされたウェイトを、ティルト・グループ内の全てのティルトされたウェイトの合計で除することにより計算される。

$$\text{ウェイト}_{\text{ティルト・グループの構成銘柄}} = \frac{\text{構成銘柄の指数ウェイト} * S}{\sum \text{ティルト・グループの全ての構成銘柄の指数ウェイト} * S}$$

3. ティルト・グループの中立性を確保するために、各指数の構成銘柄の最終的なウェイトは、上記のステップ 1 及びステップ 2 の積となる。

$$\text{ウェイト}_{\text{構成銘柄}} = \text{ウェイト}_{\text{ティルト・グループ}} * \text{ウェイト}_{\text{ティルト・グループの構成銘柄}}$$

指数の算出

この指数は、**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指数で使用されている除数メソドロジーの手法により算出されます。

指数計算メソドロジーに関する詳細については、**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (**S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology**) の非時価総額加重指数のセクションを参照ください。

指数の維持

リバランス

この指数は年2回リバランスされ、5月と11月の最終営業日の取引終了後に有効となります。リバランス参照日は4月と10月の最終取引日となります。

国連グローバル・コンパクト（UNGC）に基づく適格性に関する四半期レビュー

この指数では、継続的な適格性に関して、UNGC 除外基準に基づいて指数構成銘柄をレビューし、不適格な全ての企業を指数から除外し、銘柄の入れ換えは行いません。これは3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日の取引終了後です。このレビューでは、カバレッジの変更を考慮すること、または含むことはありません。

継続的な維持

指数の構成銘柄は、原指数から選択されます。株数の変更、浮動株修正係数（IWF）の変更、配当支払、及び価格調整といった指数構成銘柄の具体的な変更は、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）」に定義されている時価総額指数の取り扱いに従います。

株数のアップデート、浮動株調整、及び浮動株修正係数（IWF）に関する詳細については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）」及び「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Float Adjustment Methodology）」を参照ください。

この指数は、合併、買収、上場廃止、取引停止、スピンオフ/分割、または破産といったコーポレート・イベントを考慮するために継続的にレビューされます。指数の構成の変更や、それに関連するウェイト調整は、それらが有効になり次第、すぐに行われます。これらの変更は通常、実行日の前に公表されます。

四半期アップデート

四半期ごとのアップデートの結果、構成銘柄の株数及び浮動株修正係数（IWF）が変更となった場合、3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。

追加及び除外

追加：スピンオフの場合を除き、各リバランスの間に銘柄が指数に追加されることはありません。適格ユニバースからのスピンオフは、親会社と同じ追加修正係数（AWF）で指数に追加され、次のリバランス時点で継続的な指数採用に関して評価されます。

除外：各リバランスの間において、合併、買収、上場廃止、取引停止、スピンオフ/分割、または破産といったコーポレート・イベントにより、銘柄が指数から除外されることがあります。

さらに、メディア及び利害関係者分析（MSA）が行われた場合、指数委員会の裁量で銘柄が指数から除外される場合もあります。

コーポレート・アクション

コーポレート・アクションに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）内の時価総額指数セクションを参照ください。

計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

この指数は日本円及び米ドルで算出されます。

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、指数の追加リターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合があります。利用可能な追加バージョンには、以下の通貨、通貨ヘッジ、減衰、公正価値、インバース、レバレッジド、及びリスク・コントロールなどのバージョンが含まれます（ただし、これらに限定されない）。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

様々な指数の計算に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology）を参照ください。

特定の指数タイプ（減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など）を計算するために必要なインプットについては、www.spglobal.com/spdji で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

基準日と過去データ

指数の過去履歴の利用可能性や、基準日、基準価値については以下の表に示されています。

指数	算出開始日	初回評価日	基準日	基準値
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.25) 指数	03/28/2022	05/31/2010	05/31/2010	1000
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.5) 指数	03/28/2022	05/31/2010	05/31/2010	1000
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (1.0) 指数	03/28/2022	05/31/2010	05/31/2010	1000
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (2.0) 指数	03/28/2022	05/31/2010	05/31/2010	1000

指数データ

計算されるリターンのタイプ

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、定期的な現金配当の取り扱いが異なる複数のリターン・タイプの指数を計算しています。定期的な現金配当の分類は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定します。

- 価格リターン (PR) バージョンは、定期的な現金配当の調整を行わずに計算される。
- グロス・トータル・リターン (TR) バージョンは、源泉税を考慮せずに、配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。
- ネット・トータル・リターン (NTR) バージョンは、可能な場合、源泉税を控除した後に配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。

配当落ち日に定期的な現金配当がない場合、3つの指数の日々のパフォーマンスは同一となります。

指数の詳細なリストについては、日々の指数水準ファイル（以下、「.SDL」という）を参照ください。

定期的な現金配当と特別現金配当の分類や、ネット・リターンの計算で使用される税率に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「株価指数方針及び実務 (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Procedures)」メソドロジーを参照ください。

リターン・タイプの計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)」を参照ください。

指数ガバナンス

指数委員会

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会がこの指数を管理しています。同委員会は定期的にミーティングを開催します。各ミーティングで、指数委員会は指数構成銘柄に影響を及ぼす可能性のある保留中のコーポレート・アクション、指数構成を市場と比較する統計、指数に追加する候補銘柄として考えられている企業、市場における重大な事象などを検討します。また、指数委員会は、銘柄選択のルール、配当の取り扱い、株式数、またはその他の事項をカバーする指数方針を改正することもあります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、株価指数やその関連事項の変更についての情報が市場を動かし、重大なものになる可能性があると考えています。したがって、指数委員会の協議内容は全て機密情報となっています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも十分な通知を受け取ります。

指数の日々のガバナンスや指数メソドロジーの維持に加え、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーをレビューすることで、記載されている目標を指数が引き続き達成し、データやメソドロジーが依然として有効であることを確保します。場合によって、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはコンサルテーション（相談）を行い、外部関係者からのコメントを要請することがあります。

メソドロジーの品質保証と内部調査に関する詳細については、「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)**」を参照ください。

指数方針

公表

全ての指数構成銘柄は、指数の水準やリターンの計算に必要なデータのために毎日評価されます。毎日の指数算出に影響を与える全てのイベントは通常、「指数コーポレート・イベント・レポート (.SDE)」を通じて事前に公表され、全ての顧客に発信されます。また、コーポレート・アクションに対する通常と異なる取り扱いや、イベントに関する緊急連絡については、必要に応じて電子メールで顧客に送達されます。

プレスリリースは当社のウェブサイト www.spglobal.com/spdji に掲載されるとともに、主要なニュース・サービスにも公開されます。

プロフォーマ・ファイル

コーポレート・イベント・レポート (.SDE) に加えて、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各指数のリバランスが行われるごとに、構成銘柄のプロフォーマ（事前予想）・ファイルを提供します。プロフォーマ・ファイルは通常、リバランス日の前に日々提供され、その中には、リバランスにおいて有効となる全ての構成銘柄に加え、そのウェイト及び指数組入株式数が収録されています。

リバランスの予定やプロフォーマの提供予定など正確なスケジュールについては、www.spglobal.com/spdji をご覧ください。

休日のスケジュール

この指数は、指数構成銘柄が上場している取引所の全てが正式に休業している日、または WMR の為替レートサービスが公表されていない場合を除き、暦年を通じて毎日計算されます。

年間の休日スケジュールについては、当社ウェブサイト www.spglobal.com/spdji を参照ください。

リバランス

指数委員会は、予定されたリバランス日やその前後に生じる市場の休日などの理由により所定のリバランス日を変更する場合があります。かかる変更は、可能であれば適切な事前通知を以て発表されます。

予定外の市場の閉鎖

予定外の市場の閉鎖に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

再計算の方針

再計算の方針に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

計算及びプライシングの中断、専門家の判断、データ階層に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

お問い合わせ先

指数に関するご質問については、index_services@spglobal.com にお問い合わせください。

指数の配信

指数水準については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト

(www.spglobal.com/spdji/) や、主要な情報ベンダー（以下のコードを参照）、投資関連のウェブサイト、活字及び電子メディアなどをご覧ください。

ティッカー

以下の表では、この資料でカバーしているヘッドライン指数についてまとめています。以下の指数の全てのバージョンも、本資料でカバーしています。本資料でカバーしている指数の完全なリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

指数	リターン・タイプ	ブルームバ ーグ
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.25) 指数 (日本円)	価格リターン	SPJPELJP
	トータル・リターン	SPJPELJT
	ネット・トータル・リターン	SPJPELJN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.25) 指数 (米ドル)	価格リターン	SPJPELUP
	トータル・リターン	SPJPELUT
	ネット・トータル・リターン	SPJPELUN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.5) 指数 (日本円)	価格リターン	SPJPEMJJP
	トータル・リターン	SPJPEMJJT
	ネット・トータル・リターン	SPJPEMJN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (0.5) 指数 (米ドル)	価格リターン	SPJPEMUP
	トータル・リターン	SPJPEMUT
	ネット・トータル・リターン	SPJPEMUN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (1.0) 指数 (日本円)	価格リターン	SPJPEAJJP
	トータル・リターン	SPJPEAJJT
	ネット・トータル・リターン	SPJPEAJN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (1.0) 指数 (米ドル)	価格リターン	SPJPEAUP
	トータル・リターン	SPJPEAUT
	ネット・トータル・リターン	SPJPEAUN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (2.0) 指数 (日本円)	価格リターン	SPJPEHJP
	トータル・リターン	SPJPEHJT
	ネット・トータル・リターン	SPJPEHJN
S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト (2.0) 指数 (米ドル)	価格リターン	SPJPEHUP
	トータル・リターン	SPJPEHUT
	ネット・トータル・リターン	SPJPEHUN

指数データ

日々の構成銘柄及び指数レベルのデータについては、申し込みにより取得可能です。

商品情報については、**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックス (www.spglobal.com/spdji/en/contact-us)
にお問い合わせください。

ウェブサイト

詳細については、**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト (www.spglobal.com/spdji/) を
参照ください。

付属資料 A

バックワード・データ・アサンプション

ライブ・データ有効日（以下に定義）以前の過去の指数構成銘柄を導き出す際に使用される一部のデータポイントに関して、この指数では「バックワード・データ・アサンプション」手法を採用しています。「バックワード・データ・アサンプション」手法とは、指数構成銘柄に関して入手可能な最も古いライブデータ・ポイントを、指数ユニバースにおける当該構成銘柄の過去の全ての事例に適用するものです。

バックワード・データ・アサンプションは、指数のバックテストにおける仮説に基づく過去の構成銘柄だけに影響を及ぼします。実際に行われる指数のリバランス、及びライブ・データ有効日後における指数の過去のリバランス計算については、実際のライブ・データだけが使用されます。

バックワード・データ・アサンプションの使用に関する **S&P DJI** の原則及びプロセスの詳細については、[FAQ](#) を参照ください。

バックワード・データ・アサンプションの対象となる指定データセット

上記の指数に関する過去のバックテスト内のバックワード・データ・アサンプションは、以下に定義される指定データセット及び関連する時間軸だけに適用されます。各指定データセットに関して、以下に示すライブ・データの参照日以前における全ての過去のリバランス・イベントが、バックワード・データ・アサンプションの使用の対象になります。

データ・プロバイダー	指定データセット	ライブ・データ参照日	ライブ・データ有効日
S&P DJI	S&P DJI ESG スコア	04/30/2020	06/01/2020
サステナビリティクス	グローバル・スタンダード・スクリーニング	04/30/2020	06/01/2020

ライブ・データ参照日とは、実際のライブ・データだけが使用される最初のリバランス参照日を指しています。

ライブ・データ有効日とは、それぞれのデータセットの実際のライブ・データだけに基づいて、指数構成銘柄が決定される最初の日を指しています。

欠落しているカバレッジに基づく除外

この指数は、上記の指定データセットに関して欠落しているカバレッジに基づいて企業を除外します。ただし、それぞれのライブ・データ参照日以前のリバランス日については、バックワード・データ・ア

サンクションを適用した後のカバレッジに基づいて企業の適格性を判断しており、実際のライブ・データの
カバレッジによって決まるわけではありません。

指定データセット毎の過去のカバレッジ評価

S&P DJI ESG スコア・カバレッジ（原指数ユニバースに関する）：

S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンクションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
5/31/2010	495	324	93.3%	485	99.7%
11/30/2010	500	324	92.9%	492	99.8%
5/31/2011	498	332	92.0%	490	99.8%
11/30/2011	500	330	91.4%	495	99.8%
5/31/2012	499	290	90.1%	496	99.9%
11/30/2012	501	289	89.4%	498	99.9%
5/31/2013	502	317	91.9%	499	99.9%
11/29/2013	500	317	91.8%	497	99.9%
5/30/2014	502	318	92.1%	499	99.9%
11/28/2014	501	318	91.8%	498	99.9%
5/29/2015	502	350	93.9%	499	99.9%
11/30/2015	500	349	93.3%	499	100.0%
5/31/2016	503	387	95.7%	502	100.0%
11/30/2016	500	384	95.4%	499	100.0%
5/31/2017	499	472	99.2%	498	100.0%
11/30/2017	500	473	99.1%	499	100.0%
5/31/2018	501	483	99.4%	500	100.0%
11/30/2018	501	482	99.3%	500	100.0%
5/31/2019	500	485	99.6%	499	100.0%
11/29/2019	500	483	99.4%	499	100.0%
5/29/2020	498	497	100.0%	n/a	n/a
11/30/2020	499	499	100.0%	n/a	n/a
5/31/2021	496	496	100.0%	n/a	n/a
11/30/2021	500	497	99.9%	n/a	n/a

サステナリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニング・カバレッジ（原指数ユニバース
に関するカバレッジ）：

S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンクションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
5/31/2010	495	325	92.5%	484	99.6%
11/30/2010	500	327	92.7%	492	99.7%
5/31/2011	498	325	92.4%	490	99.7%
11/30/2011	500	325	91.8%	495	99.7%
5/31/2012	499	335	92.5%	496	99.8%
11/30/2012	501	329	91.5%	498	99.8%
5/31/2013	502	380	94.1%	499	99.8%
11/29/2013	500	379	94.1%	497	99.8%
5/30/2014	502	386	94.5%	499	99.8%
11/28/2014	501	444	97.1%	499	99.9%
5/29/2015	502	443	96.7%	500	99.9%
11/30/2015	500	454	98.2%	499	99.9%
5/31/2016	503	457	98.0%	502	99.9%
11/30/2016	500	453	98.2%	500	100.0%
5/31/2017	499	463	98.8%	499	100.0%
11/30/2017	500	465	98.7%	500	100.0%

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
5/31/2018	501	500	99.9%	501	100.0%
11/30/2018	501	500	99.9%	501	100.0%
5/31/2019	500	499	99.3%	500	100.0%
11/29/2019	500	498	99.3%	499	99.9%
5/29/2020	498	496	99.9%	n/a	n/a
11/30/2020	499	499	100.0%	n/a	n/a
5/31/2021	496	496	100.0%	n/a	n/a
11/30/2021	500	500	100.0%	n/a	n/a

付属資料 B

メソドロジーの変更

2022年3月28日以降のメソドロジーの変更は以下の通りです：

変更	有効日 (取引終了後)	メソドロジー	
		変更前	変更後
ESGスコア・データ	2024年5月31日	この指数では、構成銘柄選択プロセスの一環として S&P DJI ESG スコアを使用します。	この指数では、構成銘柄選択プロセスの一環として S&P グローバル ESG スコアを使用します。
国連グローバル・コンパクト (UNGC) に基づく適格性に関する四半期レビュー	2024年5月31日	--	この指数では、継続的な適格性に関して、UNGC 除外基準に基づいて指数構成銘柄をレビューし、不適格な全ての企業を指数から除外し、銘柄の入れ換えは行いません。これは3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日の取引終了後です。このレビューでは、カバレッジの変更を考慮すること、または含むことはありません。

S&P Dow Jones Indices 免責事項

パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indices とその指数関連会社は、透明性を提供することにより顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の（現実またはバックテストの）計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indices では、ローンチ日につき、例えば S&P Dow Jones Indices の公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入された Dow Jones ブランドの指数については、ローンチ日（2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた）は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加及び削除の基準、ならびにすべての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報はすべて、仮説に基づく(バックテストされた)ものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク（ブロックチェーンの分岐）の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ 5 イコール・ウェイト指数及び S&P 暗号通貨トップ 10 イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。また、指数管理の決定を正確に複製することは困難であるため、バックテストされたパフォーマンスにおけるコーポレート・アクションの取り扱い、実在する指数に対するコーポレート・アクションの取り扱いと異なる場合があります。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスにより影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうるすべての財務リスクを考慮したものではなく、生存者バイアス/先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般に S&P DJI では、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ（過去の株価、時価総額、及び企業活動に関するデータ等）を使用します。ESG 投資はまだ開発の初期段階にあるため、特定の ESG 指数を作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたり入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となるすべての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJI では、ESG データの「データ遡及想定」（または、引き戻し）と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「データ遡及想定」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータすべてに、入手可能な実際のデータポイントのうち最も過去のを適用するプロセスを指します。例えばデータ遡及想定では、その前提として、特定の業務活動（「製品関与」と呼ぶ場合もある）を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行っていないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもかかる活動を行っていたと想定します。データ遡及想定は、実際のデータのみを使用する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「データ遡及想定」について詳しく知りたい場合は、[FAQ](#)をご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、データ遡及想定を採用している指数では、そのメソドロジー及びファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイント及び当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産/証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indices は、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、資産を管理してはなりません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券/ファンドの実際及びバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10 万米ドルの投資に指数が 12 ヶ月間に 10%の収益率（つまり 1 万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に 1.5%の実際の資産ベースの手数料（つまり 1,650 米ドル）が課されると、1 年間の純収益率は 8.35%（つまり 8,350 米ドル）になります。3 年間にわたり、年 10%の収益率で、年末に年 1.5%の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は 33.10%、合計手数料は 5,375 米ドル、及び累積純収益率は 27.2%（つまり 2 万 7,200 米ドル）になります。

知的財産権/免責条項

© 2024 S&P Dow Jones Indices. 無断複写・転載を禁じます。S&P、S&P 500、SPX、SPY、The 500、US 500、US 30、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P 400、S&P MIDCAP 400、S&P 600、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、Select Sector、S&P MAESTRO、S&P PRISM、S&P STRIDE、GICS、SPIVA、SPDR、INDEXOLOGY、iTraxx、iBoxx、ABX、ADBI、CDX、CMBX、MBX、MCDX、PRIMEX、HHPI、及びSOVXは、S&P Global, Inc.（「S&P Global」）またはその関連会社の登録商標です。DOW JONES、DJIA、THE DOW及びDOW JONES

INDUSTRIAL AVERAGEは、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の商標です。これらの商標は、その他と一緒にS&P Dow Jones Indices LLCにライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLCの書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P Dow Jones Indices LLCが必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P Dow Jones Indicesが提供するすべての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、第三者にその指数をライセンス供与すること、及びカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P Dow Jones Indicesは、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P Dow Jones Indicesは、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P Dow Jones Indices LLCは投資顧問会社、商品投資顧問業者、受託者、「プロモーター」（1940年投資会社法（改訂）において定義されている）、または「エキスパート」（合衆国法典第15編第77条（15 U.S.C. § 77k）内に列挙されている）ではなく、またS&P Dow Jones Indicesはかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。S&P Dow Jones Indices LLCは税金の顧問会社ではありません。指数に証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産が含まれることは、S&P Dow Jones Indicesがかかる証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産の売り、買い、またはホールドの推奨を意味するものではなく、投資または取引のアドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容（指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット）またはそのいかなる部分（「内容」）も、S&P Dow Jones Indicesによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P Dow Jones Indices及びその第三者データ・プロバイダーならびにライセンサー（総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」）は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかな

る当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含むがそれに限定されない）、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、及び格付け、リサーチ及び評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサー及び/または **S&P Global Market Intelligence** といった **S&P Global** のその他の部門を含むがこれに限定されない、**S&P Dow Jones Indices** の関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析及び発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析及び格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。**S&P Dow Jones Indices** は、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問及び/または顧客のスキル、判断及び経験またそれらの代わりとなるものでもありません。**S&P Dow Jones Indices LLC** は、受託者または投資顧問会社としては行動しません。**S&P Dow Jones Indices** は、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、**S&P Dow Jones Indices** は、受領する情報の監査を行ったり、デューディリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。**S&P DJI** は、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因（**S&P DJI** が管理できない外部要因を含む）により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、**S&P Global Ratings** は、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。**S&P Dow Jones Indices** は、**S&P Global Ratings** を含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。**S&P Dow Jones Indices LLC** の関連会社は、**S&P Global Ratings** を含め、その格付け及び特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかる **S&P Dow Jones Indices** の関連会社は、**S&P Global Ratings** を含め、その意見及び分析を普及させる権利を留保します。**S&P Global Ratings** からの公開格付け及び分析は、そのウェブサイト、www.standardandpoors.com（無料）及び www.ratingsdirect.com と www.globalcreditportal.com（購読）で利用でき、**S&P Global Ratings** の出版物及び第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfees から入手できます。

S&P Global は、その様々な部門及び事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、**S&P Global** の特定の部門及び事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。**S&P Global** は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために方針及び手順を確立しています。

さらに、**S&P Dow Jones Indices**は、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する可能性がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準（**GICS®**）を使用しています。これは、**S&P グローバル**と**MSCI**によって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。**MSCI**、**S&P DJI**、及び**GICS**分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類（またはそれを利用することで得られる結果）に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者はすべて、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性のすべての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、**MSCI**、**S&P DJI**、その関連会社または**GICS**分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害（逸失利益を含む）について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P DJIの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。**S&P DJI**及び（または）指数データを使用する、これに基づいている、及び（または）これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び（または）配布するには、**S&P DJI**からライセンスを取得する必要があります。

ESG 指数の免責事項

S&P DJIは、特定の環境・社会・ガバナンス（**ESG**）指標、または以下のような指標の組み合わせに基づいて（ただし、これらに限定されない）、指数構成銘柄の選択、除外、及び（または）ウェイト設定を行います：環境指標（天然資源の効率的利用、廃棄物の生産、温室効果ガス排出量、または生物多様性への影響など）、社会指標（不平等及び人材投資など）、ガバナンス指標（健全な経営陣の構成、従業員との関係、従業員の報酬、税務コンプライアンス、人権尊重、汚職防止、及び贈賄防止など）、特定の持続可能性または価値観に関連する企業の関与指標（例えば、非人道的兵器、タバコ製品、燃料炭の製造/販売など）、または論争的となる問題のモニタリング（**ESG**関連事件に関与する企業を特定するための報道機関のリサーチを含む）。

S&P DJIの**ESG**指数では、指数構成銘柄の選択及び（または）ウェイト付けにおいて**ESG**指標や**ESG**スコアを使用しています。**ESG**スコアまたは格付けでは、環境、社会、及びコーポレート・ガバナンスの問題に関する企業あるいは資産のパフォーマンスを測定・評価することに努めています。

S&P DJIの**ESG**指数で使用される**ESG**スコア、格付け、及びその他のデータは、サードパーティにより直接的または間接的に提供されています（これらのサードパーティは、**S&P グローバル**の独立した関連会社である場合もあれば、無関係の事業体である場合もある）。したがって、**S&P DJI**の**ESG**指数が

ESG要因を反映できるかどうかについては、これらのサードパーティが提供するデータの正確性や入手可能性に左右されます。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、報告される（つまり、データが企業または資産により開示されたものとして提供されている、または公に入手可能なものとして提供されている）、モデル化される（つまり、データがプロキシのみを使用して作成され、独自のモデル化プロセスを使用して導き出されている）、または報告・モデル化される（つまり、データが報告されたデータとモデル化されたデータの組み合わせであるか、または独自のスコアリングや決定プロセスにおいて報告されたデータ/情報を使用してベンダーから導き出されるかのいずれかである）場合があります。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、外部及び（または）内部の情報源から提供されるかを問わず、定性的評価及び判断的評価に基づいています。特に、明確に定義された市場基準が存在しない場合には、独自の判断を行う必要があります。これは、ESG要因や検討事項を評価する上で複数のアプローチやメソロジーが存在するためです。したがって、ESGスコア、格付け、またはその他のデータには、主観的な要素や裁量的な要素が含まれています。ESGスコアリング、格付け、及びデータソースが異なれば、ESGの評価手法や推定メソロジーも異なる場合があります。また、特定の企業、資産、または指数の持続可能性やインパクト（社会・環境への影響）に関しては、関与する人（ESGデータの格付けプロバイダーまたはスコアリングのプロバイダー、指数のアドミニストレーター、あるいはユーザーを含む）が異なれば、最終的な結論も異なる場合があります。

指数が、サードパーティにより直接的または間接的に提供されるESGスコア、格付け、またはその他のデータを使用している場合、S&P DJIは当該ESGスコア、格付け、またはデータの完全性や正確性について責任を負いません。

「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、または同等に分類されるその他の目的を決定するための単一の明確かつ決定的なテストや枠組み（法的、規制的、またはその他）は存在しません。明確に定義された市場基準がない場合、または数多くのアプローチが存在することにより、独自の判断を行う必要があります。したがって、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的に関して、関与する人が異なれば、同じ投資、商品、及び戦略について異なる分類が行われる場合があります。さらに、新たな規制及び業界の規則やガイダンスが発行され、ESGサステナブル・ファイナンスの枠組みがアップデートされている中で、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的を構成するものに関する法的及び（または）市場の見解は、時間の経過とともに変化する可能性があります。

S&P DJIのESG指数のユーザーは、指数メソロジーや開示情報を注意深く読み、その指数が使用事例や投資目的に合致しているかどうかを判断することが推奨されます。